

☆中国

炭素繊維**中複神鷹、中国初の乾湿式炭素繊維を開発へ**

9月23日、中国紡織工業联合会（中紡連）は、江蘇省連雲港市で、中複神鷹炭素繊維が、連雲港鷹遊紡機、中国複合材料集団、江蘇奥神集団とともに担当した「ドライジェットウェットスピニング（乾湿式紡糸法）高性能炭素繊維の生産工程重要技術及び設備の研究開発」プロジェクトの技術成果鑑定会を開催した。

このプロジェクトは、中複神鷹炭素繊維が4年をかけて実施したもので、中国初のドライジェットウェットスピニング技術による炭素繊維生産技術である。設備は自主開発のもので、この技術を用いると、従来と比較して、紡糸速度が速い、繊維製品の外側と芯の構造の均一性が向上、優れた強度及び弾性、滑らかで、繊維内部の欠陥が少ないなどの優れた特徴を有するという。主要指標の数値は、国際基準にも達している。同鑑定会で、この技術及び炭素繊維製品が国内のトップレベル、海外同類製品の先進水準と同程度に達していると評価された。

中複神鷹によると、現在、規模化生産に成功し、市場に供給を開始した段階であるという。この炭素繊維製品は、T700水準に相当する高性能炭素繊維であり、主な指標は、引張り強度4.5GPa以上、弾性率240Gpaに達する。主要用途は、一般産業用、土木用、機械・同部品、スポーツ用品、軍事用品、航空宇宙分野など。

設備増強**INVISTA、自動車エアバッグ用ナイロン66の生産拡大へ**

合繊原料の大手メーカーINVISTAは、上海のエアバッグ製造工場の拡張工事が無事終了したと発表した。今回の拡張により設備能力は単体で年産2万トンの強となり、INVISTAはアジアで最大規模のエアバッグ用繊維メーカーとなった。

INVISTAは2008年から同地を拠点して自動車エアバッグ用の強力ナイロン66繊維の生産を開始、2011年に設備拡張計画を発表した。

更にナイロン66ポリマーの設備用に、上海化学工業パーク内に用地を保留する契約をShanghai Chemical Industry Park Development Companyとの間で結んでいる。ナイロンの特許技術を有する同社は中国市場の潜在性に着目しており、中国における資産総額は10億ドルを超え、同社にとってもこれまでで最大の設備投資となる。

☆タ イ

設備増強

IVL、JNC と合併で ES 繊維の生産拡大へ

Indorama Ventures Public Co. Ltd. (IVL)はこのほど、日本の不織布メーカーJNCとタイ・ラヨーン県に合弁会社を設立し、ポリオレフィン系複合繊維（ES繊維）を生産する。新会社は、ES FiberVisions (Thailand) Co., Ltd. で資本金の1,200万ドルはIVLとJNCが折半する。設備能力は年産1.45万トで、2015年第2四半期の稼働開始を見込む。

更にIVLは、米・ジョージア州のCovington工場（Fiber Visionの100%子会社）の複合繊維の設備能力の増強にも合意しており、1.08万ト増強して年産3.4万トを見込む。2014年第4四半期までに完了する予定。

ES繊維とは、熱融着タイプの芯鞘複合繊維で、この繊維から製造された不織布は柔軟で嵩高、という特徴を有する。

現在、北米やアジア地域でおしぼりや紙おむつ等、不織布の衛生材料分野での需要が急速に伸びており、それに対応するねらい。

☆ロ シ ア

不織布

Komitex と Freudenberg Politex、共同出資検討へ

露・^{スィクティフカル}Syktyvkarの不織布・合繊メーカーKomitex JSCはFreudenberg Politex Srl（伊）と共同出資で、スパンボンド不織布の製造工場建設を検討中であるという。工場の設備能力は年産1.5千トを見込む。

実現した場合、Freudenberg Politexにとってロシアでの2番目に大きなプロジェクトとなる。（932号参照）

同社は2012年末、4千万ドル^{ニジニノヴゴロド}を投じてNizhnij Novgorod地区のZavolzhye市に不織布工場を建設している。

（以上）